



# 中学生アメリカを訪問

## 光中とメイビル中の人的交流

平成3年度から姉妹校として国際交流を続けているアメリカウイスコンシン州メイビル中学校を3月3日から3月12日まで10日間、中学生5人（小泉



歓迎集会では、英語で自己紹介

や手紙などの交換だけでなく、今回初めての派遣研修となりました。

## 姉妹校メイビル中を訪問して 習字や折紙・カルタを紹介

中学校教頭 小川 雅章

メイビルは北海道とほぼ同程度の寒さだと聞いていたが、到着した日は、周囲に多少の雪が残ってはいたもののとても暖かく、コートなどいらぬほどであった。4日土曜日の正午に到着した私たちは、メイビル高校のバスケットボールの試合見学、ホストファミリーとの対面、そして全ホストファミリーが集まったピザパーティーを楽しんで、その日を終えた。翌5日曜日はスクールバスに乗ってミルウォォーキーへ出かけた。前夜から雪が降り始め、気温は前日と違ってかわつてとても寒くなったが、一晚ホームステイをした生徒たちは、ホストファミリーとともに元気にバスに乗り込んできた。前夜のピザパーティー以来、ホストファミリーの子どもたちとも打ち解け、多少苦しみながらも英語で会話している。

6日月曜日からメイビル中への正式訪問となった。まず全生徒による歓迎集会があり、生徒会長のジェンシーが日本語で歓迎の言葉を述べてくれた。生徒たちも英語での自己紹介を立派に行った。各授業の参観はメイビルの生徒会メンバーが一人ずつ光中生徒につき、各クラスを案内し生徒たちを授業の中で紹介してくれた。午後は4・5・6年生の集会で、光中生徒の日本人の紹介が行われ、5人の生徒たちは、それぞれ習字や折紙、カルタ等の実演を行い、日本の文化の紹介を行った。特に竹トンボをメイビルの生徒たち全員にプレゼントし、(その飛ばし方の実演もしたが)たいへん好評を得た。7日火曜日は前夜からの大雪で、学校の始まりが2時間遅れとなり、高校と小学校の訪問が主であった。特に高校では、日本語クラスの生徒たちが昼食として日本食(カレーライス)を作ってご馳走してくれた。私たちにとつては4日ぶりの米飯であった。その夕方、学校のカフェテリアでさよならパーティーが行われた。それは、多くの人たちが、私たちのメイビル訪問に関わって、その行事を協力し成功させようとしていることが感じとれる時間だった。私もホーバス先生も、そこ

に集まった人たちに感謝するスピーチを行わずにはいられなかった。

翌日私たちはメイビルを後にした。学校の玄関から私たちの乗るバスまで、全生徒が並んで見送ってくれた。生徒会のメンバーとホストファミリーの子どもたちは、バスに乗り込む生徒と泣きながら別れを惜しんだ。私とホーバス先生も、ウェーバー校長先生や今回の訪問期間中ホスト役を努めてくれたテリ・フラーさんと握手をして別れた。

メイビルは小さな町で町全体が家族のような暖かさを感じた。私とホーバス先生は、ウェーバー校長先生のお宅にホームステイしたが、奥さんのジェーンさんと二人の息子のアンドリューとサム、みんな暖かく私たちを迎えてくれた。特に下

の息子のサムが、家庭でも学校でも私たちによく話しかけ、いつも親しみ深く接してくれた。また一月末に光町を訪れたフラーさんが今回は私たちを迎えるメイビルのチーフとして、いろいろ便宜を図ってくれた。生徒たちのホストファミリーも子どもたちに親切にしてくれた。今回の私たちの訪問に関わったメイビルの全ての人たちに感謝したい。

そしてさらに、メイビルとの姉妹校交流事業を根本から支援援助して下さる教委、町当局に心から感謝したい。この教委・町当局の国際理解教育推進の姿勢がなければ、今回の私たちのすばらしい経験もなかったと思う。私たちはこれを機に、さらに充実した交流事業を進めていきたいと考えている。

### オーストラリア研修

#### 参加者募集

平成青少年遣豪使節団

主催 (社)八日市場青年会

主 議 所

日程 8月18(金)〜23日(水)

4泊6日

場所 オーストラリアク

ーンズランド州ケア

旅費 23万(町から半額程度補助)

人員 光中学校生5人

申込み 指定の応募用紙(学校を通じて配布)

に記入の上、4月10日

30日まで平成青少年遣

豪使節団事務局へ

問合せ 鈴木 ☎3215



はなねは根に鳥は古巣に

最終的に、花は根に帰る。鳥は古巣に帰る。たとえ木が枯れても、根は生きています。たとえ鳥が古巣を離れても、心は古巣にあります。